

予算特別委員会

9月23日、委員会を開催し、付託された、12議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《金山病院職員の給与等の予算計上漏れ》

Q 職員の給与と手当が計上誤りということだが、新たな職員が配置になった場合には、チェックするのは当然と思うが。

A 給料1名分の計上漏れであり、今般の合掌村同様の、チェック漏れの事案です。上司の部下に対する業務チェック方法や個々の業務課題の洗い出しを本日付けて全職員に周知しました。

《移住定住事業》

Q コロナ禍のピンチをチャンスに変える取り組みは。

A 現在のコロナ禍の状況では、移住定住イベントも実施できず、経費は減額していますが積極的な情報発信は行っていきます。

《各地域イベント中止について》

Q 従来の各地域イベントの中止はやむを得ないが、冬にかけて若者が計画した場合には、支援はしてもらえるのか。

A 屋外イベントの開催制限も緩和されようとしています。若者の中には、イベント実施を望まれている方もあるように聞いており、柔軟に対応していきます。

《間伐材安定供給支援事業》

Q 7月の災害は間伐で放置された木材などが原因で、土石流が発生した。間伐材の搬出補助を活用し、木材をできるだけ搬出して、災害が起これない山林となるよう指導してほしい。また若い林業従事者の育成も行ってほしい。

A この事業の搬出補助金だけでは十分でないと考えています。今後どのように倒れた木を撤去し、災害の起きない山づくりができるか、総合的に検証していきます。また、林業従事者の育成については、森林環境譲与税を活用していきます。

《保育施設整備事業》

Q 事業を中止した子育て支援センターの整備は、若い世代の助けにもなり有効な施設になると思う。来年度以降に事業化されるのか。

A 子育て支援センターの整備は、地元からの強い要望もあり、利用者も多いことから、今後もNPO法人と相談して、建設に向けて取り組んでいきます。

決算特別委員会

9月24日、25日、28日の3日間、委員会を開催し、令和元年度一般会計決算、8つの特別会計決算、および3つの公営企業会計決算の認定について審査し、下呂温泉合掌村事業会計決算を除き、全て認定すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

なお、下呂温泉合掌村事業会計決算の審査に関しては、6ページ下段をご覧ください。

【一般会計】

（市税の徴収状況）

Q 不納欠損処分（徴収すべき債権が時効等により徴収できないと決定すること）が前年度に比べ多いが、適切に債権管理がされているのか。

A 県税事務所への研修派遣等による職員のスキルアップも含め、市税の収納率を高める方策を検討したいと思います。

（市職員の採用計画）

Q 市職員は地域づくりを進める上で重要な役割を担うことになる。地域バランスに配慮した積極的な採用を行っていくべきと考えます。

A 現在の職員構成から今後、し

ばらく退職者が多い状態が続く中、一定数の新卒者をしっかりと採用しながら、併せて社会人枠やU・Jターン枠で若年層の補充を進めていきたいと考えています。

（マイナンバーカードの普及）

Q 事業所への出張によるマイナンバーカード交付申請受付が行われているが、来庁による手続きが困難な高齢者等に対する支援は検討できないか。

A 事業所や老人ホームへの訪問による手続支援は積極的に行っています。個人宅への訪問については行政サービスとしては難しいので、他の形での支援を考え進めていきたいと思っています。

（危機管理体制の確立）

Q 災害対策上、危機管理課の果たすべき役割と責任がますます重要となっている。その中で専門的な判断が可能な職員を育成していくべきと考えます。

A 危機管理に限らず、すべての部門において人材育成はしっかりと行っていきます。災害対策においては、市としてのレベルアップに加え、県との連携により専門家の派遣を受け、的確な対応を行っていききたいと思います。

（病児保育サービスの提供）

Q 病児保育サービスは、保護者